



hida

報 廣

ひだ

町 木



第 8 号
肥 田 町
郷 づ くり 委 員 会
H 10. 2. 1 発 行

雨森の「全員参加の町づくり」 (十六年の歩み) ……を聞いて見て。



去る十一月二十四日には、町内多数の皆さんの出席を得て講演会を有意義に開催することができました。ご出席いただきました皆さんのご協力を厚くお礼を申し上げます。

講師の雨森芳洲庵館長木村一雄先生のユ一モアに満ちたお話や、数多くの歩みのすばらしいスライドの映写に、皆さんもそれぞれに深い感動を覚えられたのではないかと思います。

雨森は、江戸時代の日本と朝鮮の修好に大きな活躍をされた雨森芳洲先生の出身地とは言え、その戸数百十五戸、人口五百三十人程の私たちの肥田町と同じくらしいの純農村です。この農家集落が十六年前より、「今、地域社会にとって大切なことは何か」を問題として人々が一体となって取り組まれたそのあゆみが、総理大臣賞を始め年々全国表彰に輝く現在の雨森を築き上げられたのであることを知らされては、字民挙げての努力に只々感服と驚きの外ありません。年間三万人に及ぶ

全国各地からの研修視察の人々が訪れるのも当然な事と言えます。

今日、ふれあい事業とか、ふれあい広場等を以前には聞かなかったふれあいの言葉を社会の共通語のように耳にしています。まさに今日の社会を端的にあらわしています。この時、私たちの肥田町も先人によって築かれた由緒ある他に誇り得る町である自覚を高め、自然と歴史を生かし、みんなで心ふれあい、取り組める郷づくりが出来ればとその感を強くする次第です。

文化・教養事業部長 成宮 伊蔵

講演会に参加して

先般の講演には、雨森地区の郷づくりについて、スライドを通し、具体的な姿で地域事業のようすを紹介して頂きました。汚れていた川がよみがえり、川には魚が泳ぎ、水車が回り、各家庭の庭や川の周囲には花が咲き、生活の様子が一変したこと。又韓国との文化交流により、ハンゲル語の勉強やホームステイと、青少年や子供達との交流がとても素晴らしいと思われました。私自身、今まで自分の考えがこの地域の人達とはかけ離れた気持があることに気がきました。なにげなしに裏川に目を向けると、ヘドロと化した川がそこにある。年数回の川掃除もぜひ月2回位はしたいものです。そうすれば川にごみを捨てる人もなくなると思います。又、町の運動会には、

都会に出ている人も帰郷して参加されている事を聞き驚きました。わが町も、少しでも雨森のよい点を取り入れ、町民全員がよりよい環境を作るよう努力していきたいものです。

主婦 藤野佐津子

高月町雨森地区のまちづくりの講演とスライドを見ていただき、私だけでなく、参加された皆さんも感動され、ため息が出ていました。町内と流れる川の水はきれいで透き通り、又、まちのあちこちには、地区の皆さんが丹精こめて育てられた、色とりどりの花が咲き、心のやすらぎを感じるまちに思いました。この様な活動を何年も続けてこれたような郷づくりを定着された、まちの人びとはとても素晴らしいと思います。ここまで作り上げられたまちの人々の努力、また経過を大いに参考にさせていただき、私たちの肥田の郷も、地域にふさわしい、よい町・たのしい町にしたいと思うと同時に、そのためには、先ず家庭から努力しなくてはと思いました。

主婦 藤野 紀子

年 頭 所 感

自治会長 藤野 泰弘

一九九八年の幕開け、町民の皆様には、おそろいでお健やかに新しい年を迎えられ、ともに心からお慶び申し上げます。

旧年中は、きびしい周辺環境にあつて、自治会の活動につきまして、格別のご理解ご支援を賜りありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。

昨年の後半には、土井さんによる日本人

初の宇宙遊泳の快挙を見せて頂き、又サッカー日本では、フランスでのW杯の挑戦権を得ると云う明るい夢の広がりにホッとしましたが、総じて昨年は寒い北風の吹き荒れっぱなしで今迄底辺に潜んでいたものが一気に全部表に出た世相ではなかったかと思われます。即ちペルー日本大使館人質事件で緊迫のうちに年が明け又、サカキバラ事件の衝撃、青少年犯罪の増も目立ち改めて人間とは、親とは、家族とはが問い直されたところですよ。

生活面では、今迄の常識では考えられない金融証券業界の不祥事続発、大手の銀行や証券会社の倒産、廃業の波紋の広がり、株価の暴落と政治はとうなっているのか、日本の信用が国際的にも問われている現状です。

又十二月には京都で、地球温暖化対策の会議が開かれました。エルニーニョ現象、ダイオキシンの影響が私達の生活に身近に感じられるようになり、身が引き締まります。いずれにしても環境問題、景気対策、行政から倫理の問題と改革を求められる時を迎えています。

この様な時代に、私たち一人一人がやりヨコのつながりを大切にしながら、自分らしさを新しくつくる事が必要だと思います。町にあつても同じようにたくましい「肥田町らしさ」をみんなで力を合わせ新しくつくる事の努力が大切だと考えます。昨年に倍して皆さんと一緒に明るい年、明るい町へとなるよう頑張ります。今年も新年です。勇気を持って走りましょう。私も自治会活動へ一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成十年、皆様のご家庭の益々のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

緑風

還暦を迎えました。
「わたる！わたる！高橋わたる！」と、冗談遊び半分ではやしたてながらも、夢中になって遊んだ子供頃の頃が懐かしく思い出されます。

お正月やお盆、祭り等肥田の「よばれ」の時は、私は、自転車でゆったりと町の中を巡ります。金刀比羅（コンピラ）さんの境内に入ると、木登り、せみ採り、かんけり、陣取り・・・どこからか祭りの大鼓や鉦の音が聞こえてくる気がします。

地藏さん（旧）まで来ると、飾り旗づくり、行燈のはりかえ、ぼうがん・お供え・お花集め・すもう大会など楽しかった地藏盆。宇曾川での水泳、魚つり。宇曾川堤でのかぶと・くわがた・こがねの虫採り。狐の穴も探検に行ったなあ。裏の小川では、ざるを使つて小魚つかみ。町のあちらこちらで、子供の頃の様子が次から次へと鮮明に浮かんできます。

火災にあった公民館も立派に竣工。川幅も広く改修された宇曾川も鮎釣りのメッカとなり、川岸には、「白真弓、斐太の細江の菅鳥の妹に恋ふれか 眠を寝かねつる」の碑が建っています。どの家も新しく建てかえられ、町並みも立派になりました。目の当たりにするいろいろな事象事物から、肥田町の歴史文化の重みと、今しつかりと受け継ぐ住民の力強い心意気を感じます。

私は、肥田の空気を吸い、肥田の水を飲み、肥田で育てられました。緑豊かな自然と多くの方々の温かい人情に支えられて育つたことを、とても有り難く思っています。ふる里を離れて、「ふる里」を想う。

肥田町の益々の発展と町民各位のご健康とご多幸を祈念いたします。

稲枝町在住 二元持 巨

郷づくり伝承事業

「もちつき」



去る12月23日、公民館において、カンガルークラブと子供会の子供たちが「もちつき」を体験しました。郷づくり委員の方々にお世話いただき、きねでもち

をつきました。子供用に杵を一回り小さく成形してもらつていて、子供たちもリズムカルにもちをつくことができました。また、子供たちは、みんなでついたもちを、きな粉もちにして、昼食にいただきましたが、子供たちはいくつもおかわりをしていました。家庭では、これほど餅を食べるといったことはないでしょうが、みんなですべて一緒に食べることが楽しかったのだと思います。



今年度は、田植え、稲刈り、もちつきと学校ではできない体験学習をさせていただきました。お世話になった郷づくり委員の方々に礼申し上げます。

子供会会長 二元持 清



まちの川を美しく



「町中の川を美しく」を自治会より提唱されて、これを定着化する為、ユニークな方法で実施されている。この班では、自らの裏川をはさむ町

筋、十軒を三班に分け、毎月輪番制で、金熊手と班名板を回覧し、定期的に川掃除に当たっています。清掃時には、熊手にずつしりと汚泥や雑物もたれ、たいへんな作業であるが、実施後は川底もすつきりし、水の流れも清々として気持ちよく、継続した奉仕作業として大変効果を挙げています。

環境事業部



「あじさい」文庫に参加して

成宮かよ子

いつもお世話いただきありがとうございます。近頃では、子ども文庫で借りた本を自分で読むことも多くなってきましたが、自分で読むことと共に、絵本など読み聞かせてあげることは、より大切であると聞きましたので、時間があれば出来る限り私から、「本を読んでもあげよう」と誘うこともあります。

子どもは、たいへんうれしそうに顔を上げて聞いてくれます。これからも子どもたちが、いろいろな本に出会って、いっそう豊かな世界を広げてほしいと思っています。

崇徳寺仏像の修理

文化財保存世代交流事業部

彦根市の指定文化財になっている崇徳寺の本尊像は、奈良東大寺南大門の仁王像と同じ頃（鎌倉時代）の作品で、先年この仁王像の大修理が行われたように、末長く保存するためには、専門家筋から早急に修理の必要があると指摘されました。崇徳寺は、市に対して修理予算の計上を申請されています。肥田町にとっても唯一の指定文化財でもあり、ぜひ実現され、大切に保存して頂きたいものです。

「藤野秀尾」さん遺作展

昨年度肥田町文化祭に協賛して、絵画・花鳥描写や似絵20数点が崇徳寺資料館に展示された。作品の殆どは、80歳代からのしかも、独学でたしなまれたものだけに参観者に大きな感動と励ましを与えました。

今回は辻野治平氏の遺作展を予定しています。

「結婚おめでとう」

鶴野 恵子さん（喜八さん長女）

近江八幡市へ

山本ゆかりさん（長利さん長女）

彦根市日夏町へ

大村 清美さん（敏雄さん義妹）

八日市市へ

藤野 望美さん（信一さん長女）

彦根市賀田山町へ

新しく入居されました。

青木 隆裕さん（家族5名）登町14組へ